

2013年6月7日

博報堂の「新・母子健康手帳」、採用自治体がさらに拡大 2013年度は全国の計 158 自治体で使用されます

株式会社博報堂のソーシャルデザイン専門組織 hakuhodo i+d および一般社団法人親子健康手帳普及協会が運営する「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクトは、独自に開発した「新・母子健康手帳（通称：親子健康手帳）」を、2011 年度より全国の自治体向けに提供しています。

提供 3 年目となる 2013 年度は、採用自治体数がさらに拡大し、昨年度より 66 増えた全国 158 自治体で使用されています。

「新・母子健康手帳」の特徴

日本の育児環境は急速に変化しています。核家族化、共働き世帯の増加、産後うつの問題など、新たな課題が山積みです。「新・母子健康手帳」は、このような課題を解決するため、全国の父母や医療関係者へのインタビュー、日本・世界の先進的な母子手帳の研究などを通じて開発いたしました。お父さんの育児参加を応援する「お父さんも一緒」機能や、子どもの医療歴を成人まで残す「健康カルテ」機能、育児の不安を減らす「癒し励まし」機能などが特徴です。

実際に使用した父母からは、「子供の成長を記入できる記入欄が多いのが嬉しい」「パパ向けの情報が充実している」などの声が寄せられています。

3 年目を迎え、さらに採用自治体が拡大

2011 年度から提供を開始したこの「新・母子健康手帳」。今年度は奈良市や芦屋市などを含む 158 の自治体に採用が拡大し、さらに多くの父母の子育てを応援しています。（※採用自治体推移：2011 年 4 月＝【2 自治体】、同年 10 月＝【34 自治体】、2012 年 4 月＝【92 自治体】、2013 年 5 月＝【158 自治体】）

（※採用自治体一覧は p.2 に掲載）

自治体オリジナルの中身の制作にも対応

今年度から新たに、各自治体の要望に対応したオリジナルのページ制作も開始いたしました。地域の子育て情報や、市長から新しく父母になる方へのお祝いメッセージ、自治体オリジナルの記念日ページを新たに作成するなど、より一層使いやすく、楽しく育児を応援できる母子手帳へと進化しています。

今後も hakuhodo i+d「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクトは、母子手帳の力で日本の子育ての課題を解決していくことを目指し、さまざまな関係者と連携してプロジェクトを推進してまいります。



【新・母子健康手帳に関するお問い合わせ】 親子健康手帳普及協会(03-6441-7752)

【報道関係者様からのお問い合わせ】 博報堂広報室 山野・西尾・尾高 (03-6441-6161)

<参考資料 1> 新・母子健康手帳 2013 年度版使用 158 自治体一覧

※下線 は 2013 年度の新規採用自治体

33 厚岸町 岩内町 恵庭市 奥尻町 音更町 北見市 共和町 島牧村 紋別市 清水町 天塩町 松前町 安平町
 平取町 赤平市 名寄市 伊達市 真狩村 羅臼町 乙部町 遠軽町 利尻町 七飯町 東川町 沼田町 厚真町
 北海道 古平町 上士幌町 神恵内村 上ノ国町 利尻富士町 洞爺湖町 新篠津村

18 青森県：横浜町 西目屋村 六ヶ所村 おいらせ町
 宮城県：塩竈市 登米市 富谷町
 山形県：舟形町
 福島県：三春町 伊達市 檜枝岐村 南会津町 塙町 石川町 葛尾村 矢祭町 双葉町 二本松市

19 茨城県：河内町 高萩市 五霞町 土浦市
 栃木県：結城市 塩谷町 下野市 益子町 茂木町 那珂川町 大田原市
 群馬県：桐生市 埼玉県：ふじみ野市
 千葉県：いすみ市
 東京都：大島町 三宅村 東大和市 御蔵島村
 神奈川県：三浦市

20 富山県：黒部市
 石川県：穴水町 七尾市 輪島市
 福井県：越前市 鯖江市 高浜町
 山梨県：早川町 南部町 昭和町 富士河口湖町
 長野県：伊那市 駒ヶ根市 南木曾町
 岐阜県：笠松町 富加町 美濃加茂市
 静岡県：磐田市 掛川市 東伊豆町



18 大阪府：泉南市 岬町 岸和田市 泉大津市 千早赤阪村
 兵庫県：養父市 芦屋市 香美町
 滋賀県：米原市 栗東市 東近江市 草津市 近江八幡市
 奈良県：奈良市 川西町 三重県：鈴鹿市 伊賀市 津市

16 鳥取県：伯耆町 島根県：江津市 知夫村 浜田市 益田市 海士町 津和野町
 岡山県：鏡野町 勝央町 奈義町 広島県：福山市 庄原市 廿日市市
 山口県：阿武町 平生町 上関町

7 香川県：三木町 小豆島町
 高知県：須崎市 土佐町 室戸市 土佐清水市
 徳島県：海陽町

27 福岡県：行橋市 嘉麻市 宇美町 那珂川町 春日市 上毛町 福智町
 長崎県：杵岐市 大村市
 佐賀県：嬉野市
 熊本県：宇城市 阿蘇市 球磨村 あさぎり町 南小国町 和水町 山江村 宇土市 山都町 南阿蘇村
 宮崎県：小林市 諸塚村
 鹿児島県：天城町 龍郷町 喜界町 志布志市 瀬戸内町

<参考資料 2> 新・母子健康手帳 6つの特徴

①予防接種や記録のページが充実しています。

予防接種の情報と記入欄が不足しているという声に応じて、ページ数を増やしました。また、子どもの成長・健康記録を書き込めるページも充実です。

②必須情報を読みやすく工夫しました。

妊娠・出産・育児に必要な時期に必要な情報を読んでもらえるように、編集を工夫しました。キーワードと平易な文章、可愛いイラストで必要な情報が一目瞭然です。

③お母さんを癒し楽しませます。

「お祝いの寄せ書きページ」「記念日カレンダー」「育児の名言」など、育児に大忙しなお母さんを元気づける内容が盛りだくさんです。

④パパの育児参加を促します。

親子健康手帳という愛称の通り、お父さんの協力を促す「パパの心得」ページも充実です。

⑤子どもが大きくなってからも役立ちます。

小学生以降も成長記録を継続でき、必要な知識が記載された長く使える手帳です。

⑥自治体オリジナルの表紙、ページの作成も可能です。

その自治体らしい表紙デザインや、メッセージを掲載するなど自治体の要望にも個別に対応しています。



<参考資料 3> 新・母子健康手帳 これまでのあゆみ

◆プロジェクトの経緯

2010 年 08 月	プロジェクト開始
2010 年 10 月	生活者(母・父)との対話 母子手帳一日一問 開始
2010 年 12 月	親子健康手帳平成 23 年度版制作開始
2011 年 01 月	生活者から寄せられた 母子手帳みんなのアイデア 公開
2011 年 01 月	プロトタイプ(β版)完成
2011 年 02 月	第 1 回 母子手帳ワークショップ@隠岐の島・海士町(島根県)開催 第 2 回 母子手帳ワークショップ@赤坂サカス(東京都)開催
2011 年 03 月	親子健康手帳平成 23 年度版完成 子どもみらい財団「母子健康手帳研究班」にて、新・母子手帳のカタチを提言 東日本大震災発生。津波および原発被害で母子手帳を紛失した家庭が多数発生 大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市(岩手県)、福島県に無償提供
2011 年 04 月	島根県海士町、栃木県茂木町にて使用開始
2011 年 09 月	新たに 32 自治体にて使用開始
2011 年 10 月	親子健康手帳平成 24 年版制作開始
2011 年 12 月	厚生労働省省令の改訂(10 年に 1 度の大改訂)
2012 年 03 月	親子健康手帳平成 24 年版完成
2012 年 04 月	92 自治体にて使用開始
2013 年 08 月	プロジェクトに協賛するサポーター企の募集を開始
2013 年 05 月	158 自治体にて使用中

◆hakuodo i+d について

「社会の課題に、デザインの力を。」を合言葉に 2012 年 4 月に設立された、(株)博報堂内のソーシャルデザイン専門組織です。行政・市民・大学・企業が参加し、地域・日本・世界が抱える社会課題に対して、デザインの持つ美と共感の力で解決に挑みます。東日本大震災支援の「できますゼッケン」など、多様なアプローチで地域が抱える課題解決プロジェクトを実行中です。「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクトは、「育児」に関する社会課題解決のプロジェクトの一環として、運営に参加しております。

●一般社団法人 親子健康手帳普及協会について

「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクトの運営のために、hakuodo i+d のメンバーおよび外部有識者(産婦人科医、小児科医、大学教授他)にて設立された一般社団法人。